

令和2年度 第14回 名取川水系河川整備学識者懇談会

【審議過程における提言・質問とその回答】

【名取川総合水系環境整備事業】資料2-1:説明資料

番号	資料番号	頁	委員名	提言・質問	回答
1	資料2-1	—	加藤委員	事業継続に異論は無い。かわまちは人が集まる施設と認識している。	ご意見いただきありがとうございます。
2	資料2-1	—	伊達委員	水辺の整備は非常に重要と考える。	ご意見いただきありがとうございます。
3	資料2-1	2	福本委員	評価は事業単位ではないのか。閑上単体のB/Cは算出しているか。また、事業費はどのようにつくのか。	環境整備事業は、それぞれの事業が相互に関連し効果を発揮するため、水系単位での評価になっています。閑上地区かわまちづくりのみのB/Cも算出しており、今回は13.6という結果になっています。事業費については、それぞれの事業について要求し、認められれば予算が付く仕組みになっています。
4	資料2-1	4	竹丸委員 福本委員	濁水について、広瀬川の導水施設で利用する水はどこから持ってくるのか。また、どのような流れになっているのか。	釜房ダムの水を利活用し、0.5m ³ /sを広瀬川及び旧策川に導水する計画です。名取川から水を取り入れ、新策川に整備したポンプ場から水を揚水し、広瀬川に導水しています。郡山堰と広瀬橋の間に広瀬川に合流しています。
5	資料2-1	6	田中委員 平吹委員	ヨシ原は保全されるのか。	ヨシ原は非常に良好な自然環境を有しており、また鳥をはじめとした生物の生息環境が形成されているため、できるだけ保全しながら、環境学習等に活用していくことを考えています。
6	資料2-1	6	伊藤委員	閑上大橋上流にはヨシ原があったが、多目的広場の整備で消失した。ツバメが生息していた場所である。整備には、人と自然の両立が求められると認識している。	多目的広場を整備する際には、検討会等で意見を伺いながら実施してきました。その際にヨシ原の保全について特に意見が出なかったため、消失させてしまったところです。周辺には多くのヨシ原が自生しており、重要な自然環境を形成しているため、専門の方のご意見を伺いながら整備を進めていきたいと考えています。
7	資料2-1	6	伊藤委員	かわまち周辺は自然観察の場を作れると思うが、そういう構想はあるのか。稚貝や稚魚などもたくさん生息しているため、自然観察の場になる。	今後追加整備を実施する高水敷整正、管理用通路の箇所は、潮の満ち引きを受ける生物の生息や周辺にヨシ原が自生しているなど、自然環境に優れた場所であります。このような重要な財産を保全しながら、環境学習や自然観察の場となる整備を進めていく予定です。
8	資料2-1	6	伊藤委員	子供達が川に入り、川の危険性や楽しさを学べる環境整備をしてほしい。	今後追加整備を実施する箇所は、ご指摘いただいたコンセプトに基づき進めていく計画です。
9	資料2-1	6	竹丸委員	かわまちてらすの利用者は多いのか。	多くの方に利用されている状況です。

番号	資料番号	頁	委員名	提言・質問	回答
10	資料2-1	6	竹丸委員	閑上地区かわまちづくりにおいて、国交省としての支援は施設整備か。	安全対策として護岸等の施設を整備するにあたり、親水性をあわせもつ施設として整備し、河川の利活用を図っています。
11	資料2-1	6	竹丸委員	自然の恵みの他に、洪水や水難事故など河川の危険性についてもあわせて学べるようにしてほしい。	震災復興伝承館とも連携しながら、川の楽しさ、怖さについて学べるようにしていきたいと考えています。
12	資料2-1	6	平吹委員	水上バイクの利用にはルールづくりが必要と考える。	ご意見いただきありがとうございます。水上バイクのルールについては、利用団体の方である程度決めていくと考えています。
13	資料2-1	6	伊達委員	桜を植樹するのか。ソメイヨシノは後の管理が大変なので、将来に負担を残さないようにしてもらいたい。	閑上地区かわまちづくりの側帯にシラカシ12本及び桜22本を植樹しています。桜はソメイヨシノです。ただ、この桜は復興桜といわれ、被災地閑上で東日本大震災後に花を咲かせた木から接ぎ木したものと聞いています。
14	資料2-1	7	田中委員	かわまちてらすの利用人口は、効果を示す指標として重要と考えているがどうなっているか。	かわまちてらすは、昨年4月のオープン以来多くの来客があり賑わっています。来客者数の集計及び利用状況調査は定期的を実施しており、今後もモニタリングを継続していくことで、評価をしていく予定です。
15	資料2-1	7	宍戸委員	環境整備事業について、閑上は、震災前は魚釣りも盛んな場であった。閑上の観光については、そのような釣り人が戻ってくるためにも釣り場の整備が必要である。	どのような形で整備できるか検討していきたいと考えています。
16	資料2-1	7	今村委員	かわまち周辺の交流人口は今後期待される。また、仙台空港からの導線も重要。	点在する複数の観光施設がいかに連携して周遊性を図り交流人口を拡大させるかが重要と認識しています。「閑上ベイエリア協議会」を立ち上げて議論を始めています。仙台空港から近いにもかかわらずアクセスの悪さが影響して利用者が少ない状況ですので、交通機関等のアクセス性も重要と認識しています。
17	資料2-1	9	加藤委員	CVM調査は初期設定で便益が左右されるが、今回の設定金額はいくらか。	事前調査の結果から、今回は30円から3,000円までの8段階で設定しています。
18	資料2-1	9	平吹委員	今回の費用対効果の算定手法は一般的なものか。	「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」(平成31年3月、国土交通省水管理・国土保全局河川環境課)に、評価手法の選定について、「かわまちづくり」事業はCVM法で評価するように記載されており、これに基づいて実施しています。
19	資料2-1	9	平吹委員	他河川の環境整備事業と比較して、支払意思額は高いのか。	手引きでは200円から400円/月を平均的な値としており、他の河川の平均値も330円/月程度となっており、今回の314円/月という結果は妥当と判断しています。
20	資料2-1	9	伊達委員	CVM法では調査対象人数等で結果が変わるものと認識している。	ご指摘のとおり、アンケートの聞き方によっても変わることもあります。昨年度プレ調査を実施しており、おおよその傾向を把握した上で本調査を実施していますので、今回の調査対象人数等については、妥当と判断しています。

番号	資料番号	頁	委員名	提言・質問	回答
21	資料2-1	9	江成委員	費用対効果算出手法は何種類あるのか。また、CVM法以外の手法の特徴は。	主に3種類あり、かわまちづくりに関してはCVM法で実施することになっています。CVM法の他にはTCM法と代替法があり、TCM法は対象施設等を訪れる人が支出する交通費や費やす時間の機会費用を求め、これをもって便益を計測するもの、代替法は評価対象とする事業と同様な便益をもたらす他の市場財で代替する場合に必要な費用で当該事業のもたらず便益を計測するものです。
22	資料2-1	10	央戸委員	費用便益の算出結果について、前回(H29)から残事業B/Cが減少している理由は。	前は、評価基準年の翌年からの事業費を計上することになっており、H30以降を対象として事業費を計上していました。今回費用と便益のバランスを図るため評価方法が変更になり、事業中の事業費全体を計上することになっています。このため、事業中の「閑上地区かわまちづくり」がH27から開始しているため、H27以降の事業費を計上したため費用が増加しました。加えてCVM調査で支払意思額が前回より100円程度下がっており、結果、前回から費用が上がって便益が減っているため、B/Cが減少しました。
23	資料2-1	10	福本委員	今回のように、B/Cが十分大きい場合は、感度分析を実施してもあまり意味を持たない。それよりもかわまちでらすの人出や、年齢別利用形態、距離別利用者数等を指標として評価した方が実態にあっているのでは。	ご意見いただきありがとうございます。今後の評価の考え方として参考にいたします。
24	資料2-1	10	福本委員	今回の評価には国以外の市とかの事業も入っているのか。	「閑上地区かわまちづくり」については、名取市と連携して事業を進めており、名取市の事業費を計上しているほか、維持管理費については、事業箇所を占用する仙台市の維持管理費についても実績に基づき計上しています。
25	資料2-1	11	竹丸委員	地域のイベントでは、国交省も支援しているのか。	可能な範囲で支援するよう対応しています。